



ROTARY INTERNATIONAL

<ORIGINAL>

# ***GOVERNOR'S MONTHLY LETTER***

To Club Presidents and Secretaries of  
District 260

事務所・〒488尾張旭市東大道町原田2570尾張旭市商工会館 Phone (05615)4-2622

ガバナー 奥谷博俊

2

*Discover a New World of Service*

15 JULY 1984

昭和59年7月15日

見つけよう 奉仕の新生面



【写真】地区協議会開会あいさつ

# 国際協議会・国際大会に出席して



(写真は国際協議会のグループ・セッション)

## ガバナー 奥谷博俊

世界でも良く知られているリゾートフロリダの BOCA RATON HOTEL & CLUB で、BOCA としては10回目の国際協議会が5月22日から30日までの8日間に渡り開催され、世界の158ヶ国から425名のガバナー・ノミニーが参加しました。

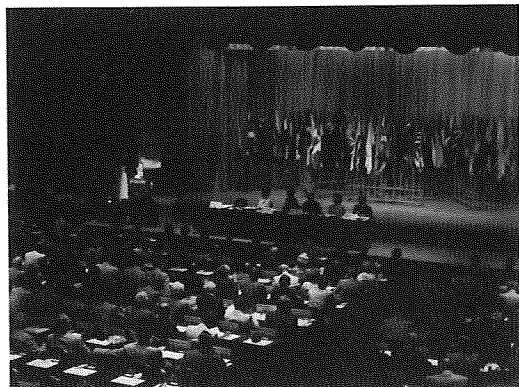
会議は本会議とグループ・セッションとに分かれています。先ず本会議場で基調講演を聞き、これを受けてスモール・グループによる研修がRI役員らの指導下で行われます。本会議場では各国語が同時通訳され、グループ討議は韓国や台湾の方々と共に日本語で行いますので、言葉のハンディはありません。本会議場は極めて質素で、万国旗と1984 INTERNATIONAL ASSEMBLYと標示したたれ幕があるのみ。また、会場入口では掲示板のENTER TO LEARN——学ぶために入ろう。GO FORTH TO SERVE——奉仕の道を前進しよう、が目を引きます。

基調講演では、温厚なスケルトン会長は、SHARE ROTARY…とDISCOVER…との継続性についてふれ、ロータリーのプログラムを成功させるためには継続性の重要なことを指摘、

これに対し、熱情的なカンセコ次期会長は、変化の激しい現代社会のニーズに応ずるため、奉仕のための新天地を開拓しようと呼びかけられ、また、末永理事は被原爆国を代表して核の恐怖を訴え、友情と相互理解と信頼感の増進こそは、ロータリーの奉仕の理念の基盤であると主張され、多大の感銘を与えられたことが忘れられません。グループ討議では、延べ数時間に渡り、新テーマDISCOVER A NEW WORLD OF SERVICEについて、すべてのノミニーが討論に参加されたことが極めて印象的でありました。

本会議場を始めロビー、食堂、数多くの懇親会や晩餐会で繰り広げられた民間外交は極めて盛んで、特にご夫人の活躍が目立っていました。言葉の障害を乗り越えての交流は、ロータリアンが味わうことができる特権であり、今度お会いする時には、もっと日本語が話せるようにしておきますとの言葉を聞くことも度々ありました。また、民族衣裳をまとい国際色豊かなタレントの夕べの交流も楽しい一夜でありました。

次回の協議会は、明年2月テネシー州Nashvilleで開催が予定されており、この協議会はBOCA



(国際協議会本会議)



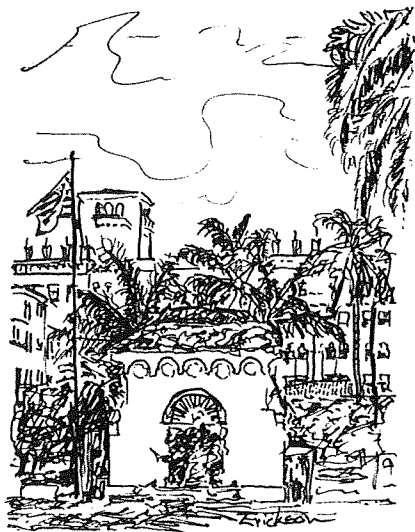
(最後まで満場だった国際大会会議場)

の最後のものということで BOCA RATON RC の長年のホストに感謝を捧げつつ、盛会裡に終了しました。

本年の国際年次大会は第75回目で、人類史上人間の生活様式に偉大な変革をもたらした産業革命の発祥地にある Birmingham RC をホストとし、National Exhibition Center において 6 月 3 日から 6 日までの 4 日間に渡り開催されました。105ヶ国 2 万 3 千名を上回る参加者があり、日本からの登録者は 1,709 名と発表され、会場では奥澤ガバナーを始め近藤、原 P G 等多くのなつかしい人々にお目にかかりました。5 日の第 3 回本会議で次期地区ガバナーの紹介があり、私共 26 名の日本のノミニーがこの際エレクトとなり、祝福を受けました。

開会式、閉会式は前後 2 回ずつ開催されましたが、収容人員 1 万名を上回る会場は常に満席であり、参加者は家族とともにロータリーを愛し、心から楽しんでいました。大会の最後を飾る「楽しい英国での会長主催の夕べ」も 2 回繰り返し上演されましたが、伝統的な英国軍楽隊の「行列行進」のほか、舞踏会、湖畔における

各種の余興番組があり、スケルトン会長夫妻が黒いマントをまとって会場から去ると、蛍の光の合唱と花火の打ち上げがあり、本大会の幕が閉じられました。英国ではエリザベス女王のご参加もあり、国を挙げてこの大会の成功を期しておられる姿を窺い知ることができました。



Boca Raton Hotel and Club

(カットはボカラトンホテル&クラブ)



|        |       |         |       |         |       |
|--------|-------|---------|-------|---------|-------|
| 1 日(水) | 芽 野   | 9 日(木)  | 松 本   | 24 日(金) | 田 原   |
| 2 日(木) | 松 川   | 10 日(金) | 塩 尻   | 27 日(月) | 松 本 南 |
| 3 日(金) | 箕 輪   | 17 日(金) | 飯 田 南 | 28 日(火) | 松本西南  |
| 4 日(土) | 名古屋守山 | 18 日(土) | 伊 那   | 29 日(水) | 上 田 東 |
| 6 日(月) | あ ま   | 21 日(火) | 犬 山   | 30 日(木) | 佐 久   |
| 7 日(火) | 瀬 戸 北 | 22 日(水) | 稲 沢   | 31 日(金) | 小 諸   |
| 8 日(水) | 長 野   |         |       |         |       |

## 9 月 は 青 少 年 活 動 月 間

来る 9 月、1 か月間を通じてロータリーは青少年問題に焦点を合わせ、この月間を次の活動を行う特別な機会といたします。各クラブとも只今からその準備に入られるようお願いします。

- 青少年をロータリーの活動に参加させる。
- 特別な催物およびプログラムを通じ青少年を表彰する。
- 青少年のニーズを調査し、新しいプロジェクトに着手する。

—— 若い人達に対するロータリーの関心およびプログラムを広報する。

広報活動も主要なポイントで、特別行事やプログラムの広報に加えて、インターアクト、ロータアクト、RYLA、青少年交換学生または財団奨学生のために報道機関による記者会見の手筈を整えたり、地域社会の各グループに対する講演を予定したりするのもその一例です。

1984～85年度のための

## 国際ロータリー第260地区地区協議会

本年度地区協議会は、6月17日(日)豊川RCホストにより、豊川いなりの所在地豊川市において、奥澤ガバナーを始め特別出席者を含め総計895名の登録を得て開催された。梅雨のさなかにもかかわらず、会場内は熱気に満ちあふれていた。

奥澤ガバナーからは、一年を振り返り年度テーマのSHARE ROTARY SERVE PEOPLEが立派に開花したことがまず報告された。意義ある業績賞の高浜RCへの授与、尾張中央、長野北、松本東の3新クラブの発足とRI会長賞の発表等があったのち、各RCの協力に感謝する旨の挨拶があり、この協議会は次年度のスタートに当たるので、有意義な一日であってほしい旨の要望がなされた。

次いで奥谷ガバナー・エレクトからは、国際協議会並びにバーミンガム国際年次大会に出席の模様、カルロス・カンセコ新RI会長の印象、特に新テーマ「DISCOVER A NEW WORLD OF SERVICE —— 見つけよう 奉仕の新生面」についての見解が披露され、この素晴らしい次元の高いテーマに基づき、奉仕の実践に新機軸を発見するよう強く要望された。クラブ奉仕では会員増強と新クラブの拡大、職業奉仕では

高度な道德的水準を確保するために職業奉仕の再認識、社会奉仕では今日まで海図に書きこまれていない新しい奉仕を見つけだし、社会に対応できる奉仕活動、国際奉仕では世界理解と平和を促進させる新しいプログラムの推進とアジア地域大会、日韓親睦大会への参加を呼びかけられ、各クラブは古いしきたりを捨て新しいプログラムを計画、実践されることが大切、との所感が述べられ、分科会に移った。

分科会後の本会議において、奥谷ガバナー・エレクトは、年度テーマについてこれまでロータリーに長年続いている緩慢な成長では有効な結果を得られないとし、会員増強では年度内に会員数100万名を実現するためには6%の純増と新クラブの結成が必要であること、また、ロータリー創立100周年(2005年)までに世界の子供をポリオ(小児麻痺)から守るポリオ撲滅2005年大キャンペーンの実施などについてふれ、新会長のメッセージを善意をもって前向きに受け取ってほしいと要望された。

来年度地区協議会の開催地として

4月21日 小諸市 ホスト小諸RC  
が発表され、奥澤ガバナーの点鐘により、所定の全プログラムを終了した。

### 第1分科会 会長部会

|            |            |              |
|------------|------------|--------------|
| リーダー       | ガバナー       | 奥澤 俊一(松本南)   |
| アシスタントリーダー | ガバナーエレクト   | 奥谷 博俊(尾張旭)   |
| アシスタントリーダー | 東尾張分区代理    | 加藤 政良(瀬戸)    |
| アシスタントリーダー | 次期尾張第一分区代理 | 宮木 邦藏(名古屋西)  |
| アドバイザー     | パストガバナー    | 山田 市三郎(名古屋南) |

奥澤ガバナーは挨拶の中でクラブの力が発揮されるのも、発揮されないのも、会長の指導力に負うところが大きいと会長の奮起を促された。

奥谷ガバナーエレクトは、新しい奉仕のあり

方、例会のあり方の探究には、熱意をもって当ること、活動には地域性を重視し、地域に密着したクラブ運営が望ましいことなどを述べたあと、定款、細則、手続要覧は一應目を通し、細

部は幹事にまかせて、新しいアイディアの発掘を心懸けること、そして、あるべき奉仕の姿は、多くの体験の中から習得するものであり、会長はその体験の絶好の機会を与えられた唯一の人であると自覚して、任期中はクラブ運営に新生面を発揮していただきたい、と結ばれた。

次に新し続要覧の改定経過等の説明があり、ロータークトが青少年奉仕部門から社会奉仕部門に移行している点については、その理由は欧米の考え方で、地区組織としては、当分の間今迄通り、青少年奉仕部門のままで行くことにし、手続要覧も、新旧の併用が最善の方法であるとの見解が示された。終わりにカルロス、カ



ンセコ R I 会長演説の録音が場内に流され、参加者に感銘を与えた。

## 第2分科会 幹事部会

|            |                 |            |
|------------|-----------------|------------|
| リーダー       | 地区幹事            | 花岡和雄(松本南)  |
| アシスタントリーダー | 三河第二分区代理        | 山中寛三(碧南)   |
| アシスタントリーダー | 次期西尾張分区代理       | 児玉秀雄(津島)   |
| アドバイザー     | 次期地区幹事          | 出分龍三(尾張旭)  |
| アドバイザー     | 地区会計長           | 小岩井茂門(松本南) |
| アドバイザー     | 次期地区会計長         | 松原勝明(尾張旭)  |
| パネラー       | ロータリーの友委員会委員長   | 神谷昭司(高浜)   |
| パネラー       | 次期ロータリーの友委員会委員長 | 鈴木宗太郎(長野)  |

「最も多く奉仕するものは、最も多く報われる」と言われる哲学を信じ、重責を自覚して、クラブの運営には新生面を打ち出し、マンネリから脱皮するように要請があった。つづいて、ガバナー公式訪問、地区大会の予定等について報告があり、その心構えが説かれた。

組織については、会長エレクトが選任されていないクラブは、定款、細則に基いて、必ず選任すること、また、クラブ協議会、クラブフォーラムの完全実施の要請があった。

幹事は良き伝統を守り、よい点はのばし、悪い点は変えるのが任務であるが、会長との連携をはかりつつ、心して主役にならぬように、事務処理は迅速に、地区事務所との連絡を密にして1年間お互いに頑張ろうと呼びかけがあった。定款、細則をマスターすることの必要性、会員名簿の購入依頼、経験談等が交々述べられたあ



と最後に出分アドバイザーより、独立採算制をとっているガバナース・マンスリーレーターを一般会員も購読するよう協力方の依頼があった。

終始熱心な討議の中で、パソコン導入クラブの有無の質問まで出て、ロータリークラブの今後の新生面を早くも見る思いであった。

## 第3分科会 クラブ奉仕部会

|            |                  |                |
|------------|------------------|----------------|
| リーダー       | バストガバナー          | 加 藤 直一郎(岡 崎 南) |
| アシスタントリーダー | 尾張第一分区代理         | 田 中 徹(半 田)     |
| アシスタントリーダー | 次期三河第一分区代理       | 三 高 宏(奥 三 河)   |
| アドバイザー     | バストガバナー          | 安 野 譲 次(一 宮)   |
| パネラー       | 次期クラブ奉仕研究小委員会委員長 | 中 村 繁 男(岡 崎 南) |

当地区に於ては会長エレクト制度が不徹底で、まだ実施していないクラブがあり、会長、会長エレクト、副会長の順序で早急に選任方の要請があった。

余り評判の良くない新し続要覧の改定までの経過報告等のあと、リーダー側から当委員会の数ある小委員会の中で重要と思われる委員会名を挙げよと逆質問があり、その結果は、親睦、プログラム、出席、会員増強、S A A、が挙げられた。

出席の重要性、メイキャップについては形式に走り、本来の目的に欠けているのでは、との指摘やS A Aは役員で、委員会ではない点留意するよう等の注意があった。例会出席は食事が目的でないこと、卓話の講師に対して、時間を充



分とること、親睦についてはクラブ対クラブの親睦も考えたらとの提言。S A Aは例会運営の全権を委任されておるので、厳格に、責任をもって運営すべきこと、ホームクラブの30%以上と、例会の60%以上の出席義務について等々が話し合われた。

## 第4分科会 職業奉仕部会

|            |                 |                |
|------------|-----------------|----------------|
| リーダー       | バストガバナー         | 藤 原 正 男(諏 訪)   |
| アシスタントリーダー | 三河第一分区代理        | 伊 藤 務(渥 美)     |
| アシスタントリーダー | 次期三河第二分区代理      | 宇 野 俊 夫(岡 崎 東) |
| アドバイザー     | バストガバナー         | 原 享 二(飯 田)     |
| パネラー       | 次期職業奉仕研究小委員会委員長 | 水 野 民 也(名古屋千種) |



数ある奉仕団体の中で職業奉仕を前面に標榜しているのは、ロータリークラブである。綱領にある如く、職業に誇りをもつて、社会に役立つように努力しなければならない。又社内教育、生涯教育、労働衛生と、経営事業に通ずる討議も考えるべきことなどがまず指摘された。

ゴルフ場経営の職業奉仕論なども出る中で、職業は地域社会の中の分業であると自覚し、社

会的責任を果たすことが職業奉仕であるとの見解も表明された。四つのテストからして職業の本音の部分の利潤について、また、職業情報についても検討すべきであろう。

まとめとして、文献を利用するのも一方法である。当委員会としては、職業奉仕月間を意義

ある月間にするために、クラブとしての職業奉仕の検討を促すことにした。

また、先に配布した行動立案計画を記入してクラブ協議会、クラブフォーラムの資料とした。

## 第5分科会 社会奉仕部会

|            |                 |             |
|------------|-----------------|-------------|
| リーダー       | バストガバナー         | 大隈孝一(名古屋)   |
| アシスタントリーダー | 南信第一分区代理        | 有賀安一(富士見)   |
| アシスタントリーダー | 次期東北信分区代理       | 荻原雅(小諸)     |
| アドバイザー     | バストガバナー         | 近藤友右衛門(名古屋) |
| パネラー       | 次期社会奉仕研究小委員会委員長 | 内山照美(豊橋南)   |

大隈リーダーは、協議会の理念は参考になることを話し合っ、互に活発な活動ができるようにすることである。また、ロータリーが存続するのは、秩序ある不連続が、連続するところにある、と説明された。

これからの社会は、“物から心”の時代である。貧しい時代には、ロータリーの寄付が高く評価されたが、心のサービスが求められる時代となり、善意、友情、思いやりをうまく表現して努力することの必要が感じられる。

南信第一区分からは、社会奉仕にしほって IGF を開催したことが報告され、とかくロータリーは寄付をしてくれる奉仕団体とされている現状を一考すべきことが指摘された。

ロータリー活動は、職業奉仕、社会奉仕が基



本になっている。RI 会長のテーマである新生面を見つけようとの提言に添う活動の事例として「530運動」、身障者に手をさしのべた「レスポ」等について報告があり、他の組織と連携してロータリーの奉仕を考え、コミュニティ・ニーズに応える社会奉仕をすることへと話題が展開され、終始熱心な討議で終了した。

## 第6分科会 青少年奉仕部会

|            |                |            |
|------------|----------------|------------|
| リーダー       | バストガバナー        | 川瀬保(名古屋南)  |
| アシスタントリーダー | 南信第二分区代理       | 北原克己(松川)   |
| アシスタントリーダー | 次期南信第一分区代理     | 池上眞通(松本南)  |
| アドバイザー     | バストガバナー        | 佐藤知雄(名古屋東) |
| パネラー       | 次期青少年奉仕委員会副委員長 | 山内疆(豊橋北)   |
| パネラー       | 次期青少年奉仕委員会副委員長 | 中里三七雄(軽井沢) |

川瀬リーダーより、内部で討議を充分することが大事だが、本音で事に当ること、そしてそのなかから自分なりのものをつかみ、真似事ではなく、自己流で奉仕の実践をして欲しい、との発言を受けて、ローターアクト、インターアクトの問題から入った。次年度よりは、ローターアクトは社会奉仕部門に入る訳であるが、次年度に限り、当部門担当と決定された旨の報告があり、名古屋南、東南、瑞穂の3クラブで設立に漕ぎつけた苦労話をはじめ、各クラブより、現況の報告があった。ローターアクト、インターアクトの結成に当っては、既に設立されているクラブより講師を招き、建設的意見を聞くのも一法と思われる。インターアクト、ローターアクトのクラブを持たないクラブも、マラソン大会、野球大会等には力を貸しておられるはず



で、これも立派な青少年活動奉仕である。校内暴力、非行等は国家的大問題であるが、ロータリーはいかに対処すべきか。大きな事はできなくとも、勇気と熱意で、地区としても、クラブとしても、活動の年としようとの言葉で終了した。

## 第7分科会 国際奉仕ロータリー財団 米山奨学会部会

|            |                  |                |
|------------|------------------|----------------|
| リーダー       | パストガバナー          | 森 泰 樹(豊 橋)     |
| アシスタントリーダー | 西尾張分区代理          | 宮 川 正 春(西春日井)  |
| アシスタントリーダー | 次期東尾張分区代理        | 山 田 久 雄(犬 山)   |
| アドバイザー     | パストガバナー          | 鮎 谷 賢太郎(名 古 屋) |
| パネラー       | 次期国際奉仕委員会副委員長    | 下 郷 弥太郎(名古屋東南) |
| パネラー       | 次期ロータリー財団委員会副委員長 | 酒 井 博(駒ヶ根)     |
| パネラー       | 次期ロータリー財団委員会副委員長 | 浅 野 甚 七(名 古 屋) |
| パネラー       | 次期ロータリー財団委員会副委員長 | 楠 仙 三(名 古 屋)   |
| パネラー       | 次期米山奨学委員会副委員長    | 河 合 利 周(名古屋北)  |
| パネラー       | 青少年交換小委員会委員長     | 加 藤 一 三(名古屋北)  |
| パネラー       | 世界社会奉仕小委員会委員長    | 赤 津 賢太郎(名古屋南)  |



青少年交換の派遣及び受入れについての基本的な説明、世界社会奉仕についての当地区の計画、海外クラブとの交流、姉妹クラブ締結の状況報告、又R I 提唱の組合せ地区の報告等が始めになされた。なおGSEは只今資金の蓄積中で、再開時期について検討中との報告もなされた。

次いで各クラブの発表、質疑が活発にあり、青少年交換については、加藤パネラーの適切な応答があった。

国際奉仕関係のまとめとして、ロータリアン

はロータリーに入会した時から国際人であることを自覚して行動することが結論となり、5分間の休憩。

ロータリー財団問題については現況報告に併せて、4年前に比較して減っており、ポールハリスフェローの上に、5,000ドルランクが新設さ

れたので、一層の協力をと依頼があった。

次いで米山奨学会の近況報告があり、詳細については米山のパンフレットを熟読の上、財団と同様に協力の依頼があった。本会場即分科会場である関係で移動時間を会議時間に含めて、熱心な分科会を終えた。

## 第8分科会 会員増強部会

|            |               |                |
|------------|---------------|----------------|
| リーダー       | バストガバナー       | 北 野 幾 造(長 野)   |
| アシスタントリーダー | 東北信分区代理       | 塚 田 和 男(長 野 東) |
| アシスタントリーダー | 次期南信第二分区代理    | 加 藤 徳 夫(飯 田)   |
| パネラー       | 次期会員増強委員会副委員長 | 福 田 源 一(江 南)   |

現在の地区の状況を見ると、会員数昨年7月1日5,700名、同本年5月末日6,084名、クラブ数は88+3、計91クラブ、目標達成クラブは38クラブ、達成率41.8%、384名の会員増と3クラブの誕生で、かつてない増強である。しかしその反面、1クラブの適正会員数は80名程度ではないかと、巨大化するクラブの始末を疑問視する発言もあった。会員増強は当委員会だけではなく、会員全員で増強を計らなければならない。クラブの活性化、永続的存続には、どうしても増加が必要で、老化を防ぐには若い会員の増強が良薬であり、量は質を創造すると言うことを理解し自然減を見越して増強に努力したい旨の提言があった。

北野リーダーは、固定的概念を打ち破り、“見つけよう、新生面、であると前おきのあと、これを会員増強で考えるなら地域の職業分類調査



を行うこと、そして選考基準を検討して、大いに新入会員を迎えたい。新クラブも2階建、3階建も認められるのだから、案じることなく新クラブの設立に参加しようと提言され、種々のパンフレットを示しながら熱のこもった説明で、定刻に終了した。

### 会長・幹事の皆様にお願ひ

#### ○毎月の出席報告について

例年のことではありますが、年度始めに特にお願ひ申し上げます。毎月の各クラブ出席報告は翌月8日までに当事務所に必着するようお願いください。たった1つの未着、または記入漏れで月信の所定日発行が守れなくなります。

#### ○職業分類の見直しを

今年度も引き続き会員増強が重大なテーマになっています。ロータリー年度始めのなるべく早い時期(それは今です)に貴クラブの職業分類に最新の充填がなされ、未充填職業分類表が作られるようにご配慮ください。

#### ○変更・移動報告について

会員の入・退会、職業分類や会員資格の変更は必ずそのつど、所定用紙によりR I 中央事務局と当ガバナー事務所に報告ください。

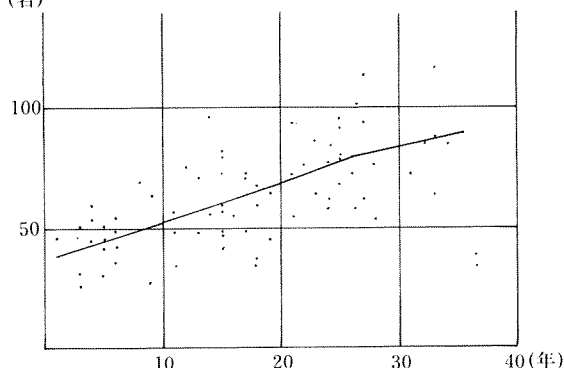
# 再び会員増強について

会員増強委員長 奥澤俊一

本年度R I会長カルロス・カンセコ氏は会員増強について、6%の増強により全世界のロータリアン数100万人（4月末現在約95万人）を目標とするとのことであります。昨年度はスケルトン直前会長の強い要請により、5%を地区目標とし、4月末現在日本は4%強の増強、当地区は6%強の増強となる予想ですので、大変な目標が再度示されたこととなります。

過去数年間の数字を見ますと、全世界で平均2%強の増強で、更に地域別ではASIA、CENAMが好調でSACAMA、GB&I、ANZAO、USCBと低調、その内アジアは平均5%強の増強で、韓国、タイ、台湾、フィリピンが好調で、その中では日本は低調となっています。特に1981～82年度においては、1既存クラブ当りの会員数が0.055名の減、全世界で18クラブにつ

第1図  
(名)



第1表

数字はクラブ数

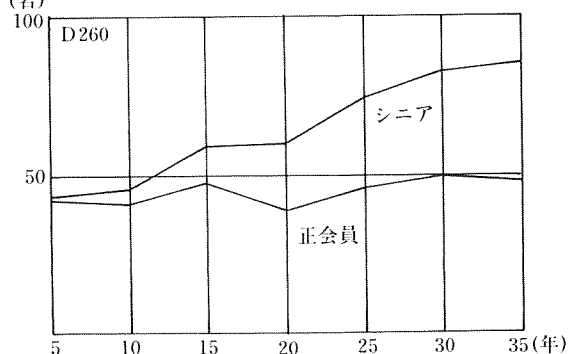
| 会員数     | ～10年 | 11～20 | 21～30 | 31～35 | 合 計 |
|---------|------|-------|-------|-------|-----|
| 20～29名  | 2    |       |       |       | 2   |
| 30～39   | 4    | 3     |       |       | 7   |
| 40～49   | 6    | 10    |       |       | 16  |
| 50～59   | 5    | 8     | 4     |       | 17  |
| 60～69   | 2    | 4     | 4     | 1     | 11  |
| 70～79   |      | 7     | 8     | 1     | 16  |
| 80～89   |      | 2     | 5     | 2     | 9   |
| 90～99   |      | 1     | 4     |       | 5   |
| 100～109 |      | 1     |       |       | 1   |
| 110～119 |      |       | 1     | 1     | 2   |
| 120～129 |      |       |       |       |     |
| 130～139 |      |       | 1     |       | 1   |
| 合 計     | 19   | 36    | 27    | 5     | 87  |

いて1名の減少ということが明らかとなりました。（この年度は1.36%の増強、その内GB&IとUSCBは減少、新クラブは500）この厳しい現状により昨年は会員増強の重要性が強調されたわけで、未だ数字は明らかではありませんが、上記の日本の達成数字からみて、本年も更に厳しい目標が示されたようであります。

当地区としては、各クラブのご協力により、日本の平均以上の増強となることは確実で、充分目的を達成した反面、本年度の増強は困難であると見るのが常識であると思われます。しかし、本年は結構というわけには参りませんので、ここでもう一度次の諸表（昨年のガバナー月信9号より再掲）を見ていただきたいと思います。

第1図ですが、歴年に従って会員の増加傾向が見られるものの、相当上下にバラツキがあります。これを10年ごとのグループ別に見たのが第1表ですが、この表の中で各クラブが何処に位置するかを見ていただければ増強の可否の判断が出来ると思います。次に正会員とシニア・アクティブ会員の構成を5年ごとにグループの平均で見たのが第2図・第2表で、正会員数がほぼ横這いとなっているのが判ります。シニア・アクティブ会員制度が十分に生かされていないことが原因でしょう。また分類表の見直しと新分類の開放が望まれる所です。次に第3表は愛知・長野

第2図  
(名)



## ガバナー連絡会議(第1回)

7月1日、東京プリンスホテルで開催、議長近藤正夫(東京城北)、副議長中村俊一(東大阪)、黒沢張三(東京南)、連絡委員長木本茂三郎(東京北)、其他顧問等決定、引続き審議に入り、

①予算案の承認、②ガバナー連絡会議規約変更(ロータリー青少年交換連絡事務所を置き、年1回以上、地区ガバナーを通じ地区青少年交換委員長会議を開く)、③ロータリーの友委員長委嘱松平一郎(東京日本橋)、④向笠元R I会長記念公園、日本の松の緑を守る会、ユニバシアード、EXPO85等の募金に関する基本原則、特にガバナー連絡会議の協力の在り方について検討。

## ロータリーの友新旧委員 合同会議

7月1日、同じく東京プリンスホテルで開催、ガバナー、正副委員長、顧問、常任委員、地区委員等それぞれ新旧全員が出席して新年度方針

はじめ事業計画、予算その他について審議。特に次の諸点が強調されました。

1. 「ロータリーの友」の英語版が出版されだして10年になります。今年は2回(10月、4月)発行予定です。毎号中のすぐれた記事を英訳して広く海外に紹介するものです。海外の友への最良のプレゼントに、また、ご自身の勉強用に1人でも多く購読をおすすめします。
2. ロータリアンとしては、毎回の例会出席と、「友」を読むことが何にも先がけての行動目標です。

3. ぜひ購読したい推薦図書：

- a. 「ロータリーの理想と友愛」(ポール・ハリス著、米山梅吉訳。ロータリーの主義・精神解明に必読) ¥1,500(送料共)
- b. 「ロータリー日本60年史」(日本におけるロータリー活動60年の集大成) ¥3,500、送料 ¥350。上記いずれも直接下記へご注文ください。

〒105 東京都港区芝公園2-6-3

abc会館8階 ロータリーの友事務所

電話 (03)436-6651

(奥谷記)

の各都市の会員1人当りの人口を見たものです。少い所、即ち拡大の進んでいる所で503名、多い所、拡大の余地ありと思われる所の最高で2,976名と大きな開きのあることが判ります。日本全人口について見ると約1,250名、長野県人口については1,264名、愛知県は1,549名となっております。昨年度はこの表によって長野市と松本市に第2クラブの設立を依頼しました所、充分なご理解、ご協力をえてそれぞれ新クラブが誕生

第2表

| 年 次    | 会員数   | 正会員   | シニア   | シニア%  |
|--------|-------|-------|-------|-------|
| 30～35年 | 85.4名 | 48.4名 | 37.0名 | 43.3% |
| 25～29  | 83.2名 | 49.7  | 33.5  | 40.2  |
| 20～24  | 75.0名 | 46.4  | 28.6  | 38.1  |
| 15～19  | 59.9名 | 38.9  | 21.0  | 35.1  |
| 10～14  | 59.7  | 48.2  | 11.5  | 19.3  |
| 5～9    | 46.0  | 41.4  | 4.6   | 9.9   |
| 創立～4   | 43.5  | 41.9  | 1.6   | 3.7   |

しました。

本年も昨年同様強い増強の要望が出ております。古くて新しい問題である「質と量」の話も出ると思います。公式訪問の折にも申し上げましたが、ロータ

リーという質とは何か、明確にして論ずる必要があると考えます。末永直前理事のいわれる通り、21世紀を迎えようとする今日、時代の変化に応じて、ロータリーも多くの人々が参加を求める生々とした大衆化社会の中で大きな花を咲かせる時が来たと思います。

第3表

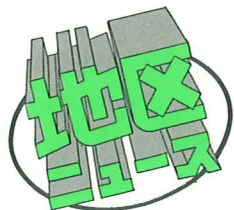
| 会員1人当りの<br>都市人口 | 愛知 | 長野 | 計 |
|-----------------|----|----|---|
| 1,800以上         | 2  |    | 2 |
| 1,600～1,800     | 4  | 2  | 6 |
| 1,400～1,600     | 3  | 1  | 4 |
| 1,200～1,400     | 6  | 1  | 7 |
| 1,000～1,200     | 3  | 2  | 5 |
| 800～1,000       | 6  | 3  | 9 |
| 600～ 800        | 2  | 2  | 4 |
| 500～ 600        |    | 3  | 3 |

## 1986～87年度ガバナー・ノミニー候補者推薦について

1986～87年度のガバナー・ノミニー候補者として考慮してほしい人があれば、地区内各クラブより直接に地区指名委員会委員長（奥沢直前ガバナー）宛お申し出ください。所定用紙が当ガバナー事務所にありますので、ご請求の上こ

れをご使用ください。

なお、地区ガバナーの資格条件、推せん手続等については、R I 細則13条5節（1984年度手続要覧198ページ）以下をご参照ください。



### ◀会合報告▶

#### ○第1回諮問委員会

7月7日(土)於名鉄グランドホテル

1. 1983-84年度地区資金会計及び特別会計決算報告承認の件
2. パストガバナー、ガバナー懇談会並びにガバナー連絡協議会報告の件
3. 1984-85年度地区年次大会の件
4. 1984-85年度地区行事予定の件

5. 1984-85年度地区協議会ホストクラブの件

6. 拡大、並びに増強の件

7. 意義ある業績賞選考委員選出の件

8. オン・ツー・カンザス・シティ委員会設置の件 その他

○第1回ロータリー財団委員会が上記に引き続き15:00より同会場で開催されました。

#### ○東尾張分区分会幹事会

6月23日(土)於犬山グランドホテル

協議事項：公式訪問について、その他

### ◀会合予定▶

#### ○インターアクト地区協議会

7月28(土)、29(日)

## 地区大会にみんなで参加しましょう

今年度第260地区大会は名古屋空港RCがホストで、9月28日(金)、29日(土)、30日(日)の3日間名古屋市で開かれます。折しも9月29日から名古屋城博も開催されますが、「来てよかった」「楽しかった」「思い出深い」年次大会になるよう万端の準備が進行中です。ご家族ともども多数のご参加をお待ちします。詳細は次号でお知らせしますが、28日の記念ゴルフ大会(春日井カントリークラブ)はもちろんのこと、大会本会議第1日の希望晚餐会にはペギー葉山歌

謡ショー、本会議両日ともそのロータリーソングリーダーには藤山一郎、そして記念講演はNHK鈴木健二アナウンサーの、知性とユーモアにあふれたお話し「日本人と奉仕」等々、楽しさいっぱいの中に充実したプログラムが進行します。シンポジウム「ロータリーの過去・現在・未来」も、足もとを見なおす絶好の機会です。9月の日程ノートに、年次大会を今すぐご記入おきください。

### 付記：

会長・幹事に配布される月信以外には、従来表紙の一隅に＜COPY＞の表示が付されてきました。今年度260地区の新しい試みとして、会長・幹事に配布される月信には＜ORIGINAL＞

と特記し、それ以外には＜COPY＞の表示は省略してあります。クラブ内で配布の際にご留意ください。また、月信専用のファイルを準備しました。1号に続いて過日、送付済みですので、ご愛用いただければ幸いです。

暑中お見舞申し上げます。

ガバナー事務所一同